

矢作川 事業概要

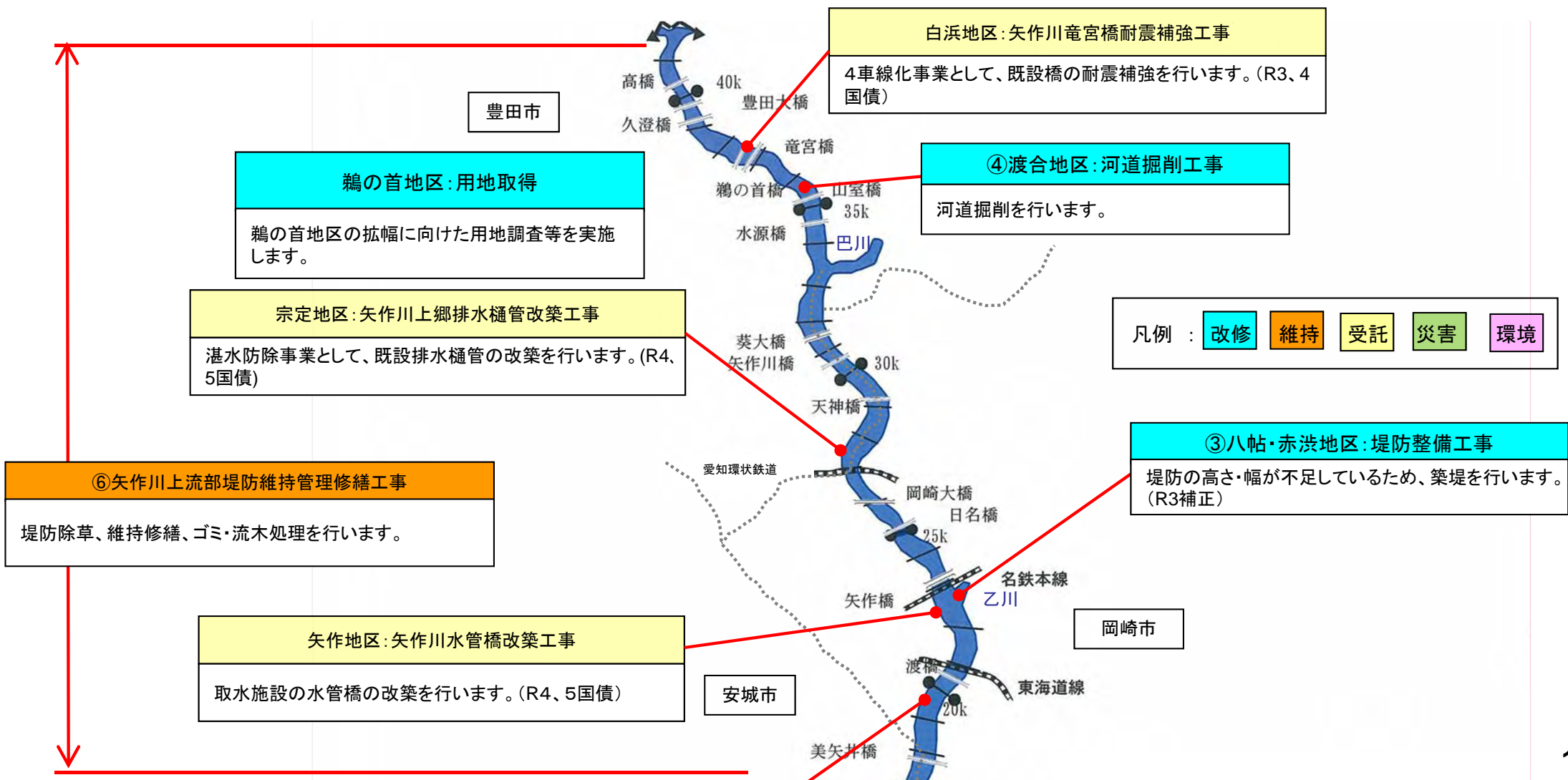
(豊田市河川整備促進協議会)

国土交通省 中部地方整備局
豊橋河川事務所

令和5年7月3日

令和5年度 矢作川事業概要

- 鵜の首地区狭窄部水位低下対策事業では、河道掘削を継続。
- 右岸陸上部掘削に向け用地取得及び樹木伐採等に着手。
- 矢作ダム再生事業は、地質調査や設計・検討など、実施計画調査を継続。



【矢作川】 矢作ダム再生事業 実施計画調査

● 現在の矢作ダムでは、放流能力が不足しているため、平成12年9月洪水(東海(恵南)豪雨)のような大きい規模の洪水に対し、洪水ピーク前にダムの容量が満杯となり、洪水ピーク時に十分な洪水調節を行うことができません。

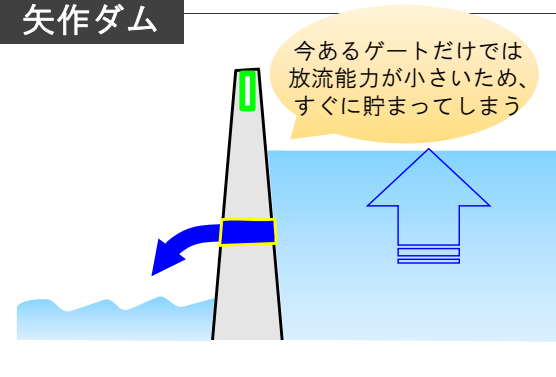
洪水ピーク時にダムの容量が満杯とならないためには、洪水初期にできるだけダムの水位上昇を抑えておく必要があり、そのためには放流能力の増強(放流トンネルの新設を想定)が必要です。

[矢作川流域図]

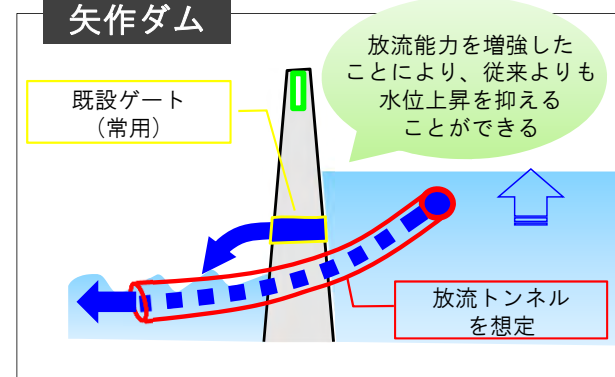


洪水初期のイメージ

矢作ダム

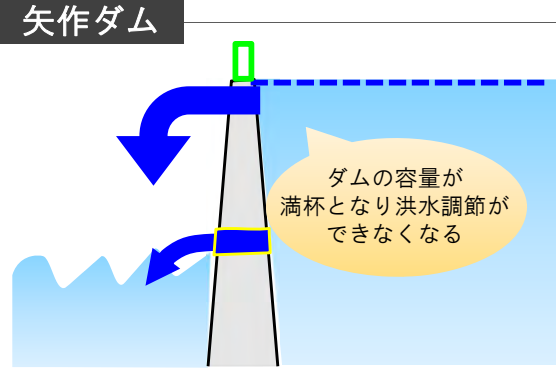


矢作ダム

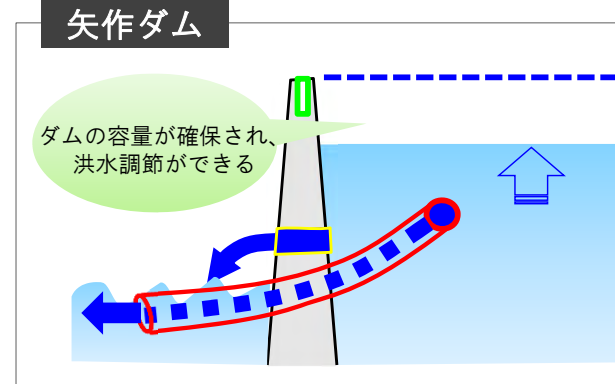


洪水ピーク時のイメージ

矢作ダム



矢作ダム



【矢作川】 鵜の首地区水位低下対策事業

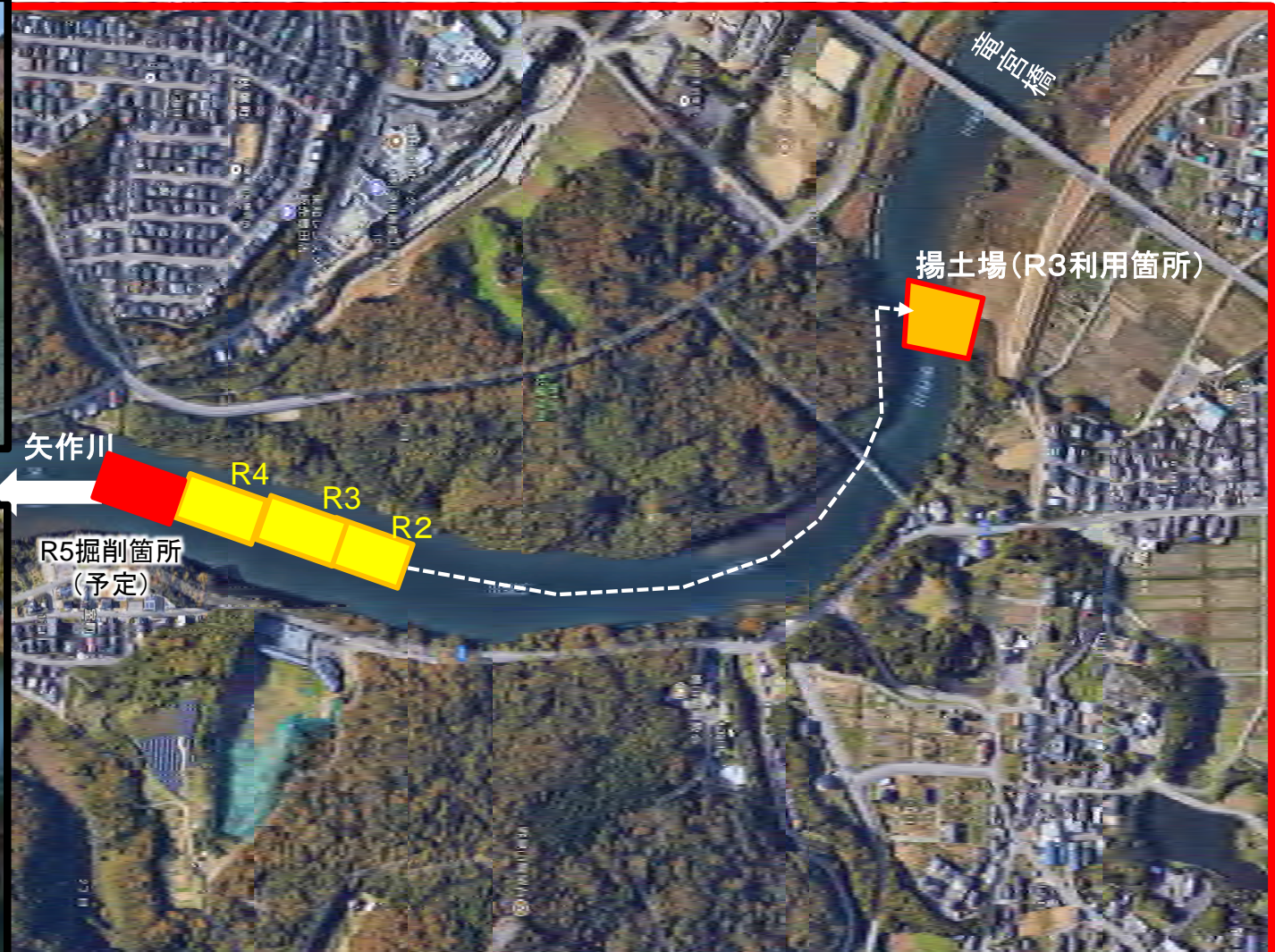
- 令和5年度は、用地取得・文化財調査・河道掘削等を実施予定。ICTを活用し、効率的な施工を図る。
- 工事の施工は、アユ等の降下時期を考慮し、出水期明けからとなる見込み。
- 掘削土砂(主に砂・小レキ)は、愛知県と連携して、引き続き三河湾の干潟再生に活用予定。

【掘削状況】 1日あたり最大約360m³を掘削



工事状況は昨年までに施工したものです。

【揚土場状況】(竜宮橋下流左岸)



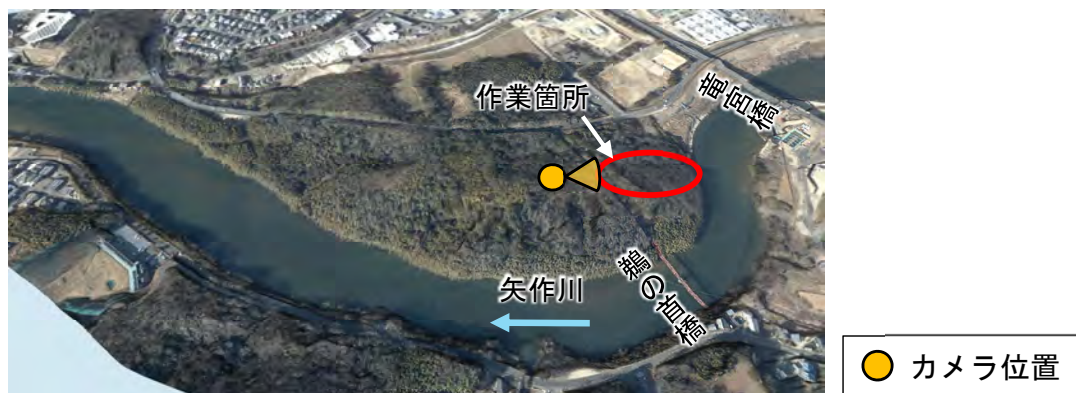
【施工前イメージ】



【施工後イメージ(濁流時)】



鵜の首狭窄部区間の開削に先立ち、伐採工事に着手しました。



【位置図】



【作業前】



【作業中】



【作業後】

- R5年3月上旬に埋蔵文化財試掘調査に着手するため、R5年2月中旬に伐採工事を実施しました！
- 鵜の首地区には、内山2号古墳があるため、掘削工事着手に先立ち事業箇所における埋蔵文化財調査を実施します。

鵜の首狭窄部区間の開削に先立ち、文化財調査に着手しました。



埋蔵文化財試掘調査状況



- R5年3月1日、2日に実施した埋蔵文化財試掘調査では、明確な遺跡と思われるものは確認されていません。